



市長インタビュー

リサイクルの学習機能を持った施設がオープンします

●東部クリーンセンターに続いて「リサイクルふれあい館」がオープンしますが、どのような施設なのですか。

齋藤市長 ごみ減量・リサイクルの学習機能を持ったリサイクルふれあい館は、循環型社会の構築にむけて私たちに何ができるのか、何をすべきなのかを考え実践していくための施設です。

電気やガスなどのエネルギー、水や食品や衣料など生活に欠かせないもの全ては地球からの贈り物です。私たちの生活はその恵みなしには成り立たないのです。ごみ問題をはじめとする環境へのさまざまな影響を学び、負荷のより少ない循環型社会を構築することは、市の基本理念である「人と地球を愛するまちづくり」を実現することでもあります。

循環型社会の実現には資源の有効利用としてのリサイクルを進めると同時に、リサイクルの対象となるごみそのものを出さないことが重要です。そのためには、情報や技術、知恵などを収集・提供・体験して自分の暮らしの中にかきつけづくりの場が必要です。

たくさんの方の市民の皆さんに当館を利用していただき、リサイクルに関するさまざまなことを学び、そして実践し、より多くの方に広めていただきたいと思います。

市民の皆さん一人ひとりが毎日の生活の中で環境にやさしくなることが、社会を変えていくきっかけにつながることを考えています。

当館の開館にあたりまして、これまでご助言やご協力をいただいてまいりました近隣住民の方々をはじめとする関係各位、市民の皆様にお礼申し上げます。

リサイクルふれあい館 愛称「エコロ」が5月10日オープンします

リサイクルふれあい館への案内図



開館時間 午前8時30分～午後5時
休館日 月曜日、祝・休日、年末年始



リサイクルふれあい館全景



循環型社会の構築に向けた学習施設

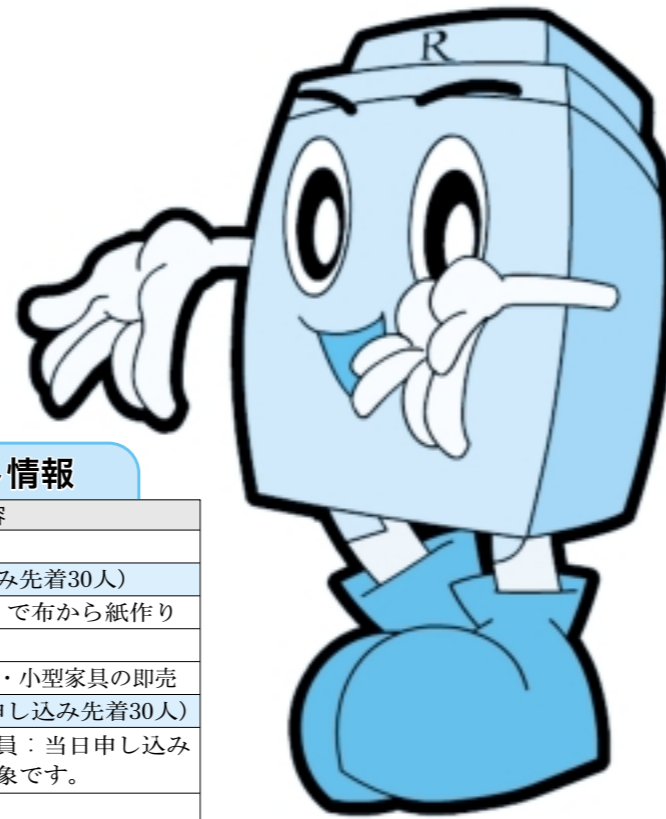
東部クリーンセンターに隣接して建設を進めてきたリサイクルふれあい館・愛称「エコロ」が開館します。当館は、循環型社会の構築に向けたごみ減量・リサイクルを中心とする環境教育のための学習施設です。周辺の自然環境と調和し、自然エネルギーを利用するなど環境に配慮した施設となっています。今回は、この施設の概要やオープニングイベントの内容についてお知らせします。
※問い合わせ リサイクルふれあい館(☎994-5374・FAX994-1118)

オープニングイベントを開催します

「リサイクルふれあい館」の開館を記念して5月10日(土)、11日(日)にオープニングイベントを開催します。当日は、地元農産物格安販売やフリーマーケット、南永井地区のお雑子(はやし)も実施します。

◎□の表示のイベントについては、事前予約(5月7日(木)から受付)が必要です。ご注意ください。各イベントについては、職員にお尋ねください。

申し込み・問い合わせ リサイクルふれあい館(☎994-5374・FAX994-1118)へ電話申し込み



▲市のリサイクルキャラクター「リック」

5月10日(土)のイベント情報

Table with 2 columns: 開始時刻 (Start Time) and 内容 (Content). Events include opening ceremony, recycling workshop, and exhibitions.

5月11日(日)のイベント情報

Table with 2 columns: 開始時刻 (Start Time) and 内容 (Content). Events include recycling workshop, recycling machine exhibition, and recycling competition.

送迎バスを運行します

イベント当日は、航空公園駅東口から午前8時30分～午後4時30分の時間帯で送迎バスを運行します。皆さんどうぞご利用ください。

「ごみを減らす行動の4R」を勧めます

ごみ問題や広く環境問題に関する1階 館で行っていた再生家具の抽選頒布や不用品登録の窓口は

「ごみを減らす行動の4R」を勧めます
ごみ問題や広く環境問題に関する1階 館で行っていた再生家具の抽選頒布や不用品登録の窓口は

- Refuse (リフーズ) ごみを作らない
Reduce (リデュース) ごみを減らす、ごみになるものを使わない
Reuse (リユース) 再利用、繰り返し使う
Recycle (リサイクル) 資源として生かす

NOJUNの主事業

1階 館で行っていた再生家具の抽選頒布や不用品登録の窓口は

2階 おもちゃの病院・包丁とき講習会・かさ修理・生ごみリサイクル講演会など、これまで行っていた事業もリサイクルふれあい館では、年間開催日数を増やして実施します。

3階 地球環境についてテーマ感覚で学ぶ「リサイクル・シアター」、リサイクルの達人や環境学習などの取り組みを紹介するリサイクル物語の広場、パソコンソフトによる「分別クイズ」など、楽しみながら環境について学べる企画を用意しています。

そのまま引き続いて行っています。展示スペースも広くなりましたので、より多くの皆さんに再生家具を提供することができるようになりました。



楽しみながらごみの減量を 榎倉 昭文さん(並木在住)

私は、自治会の役員として、日ごろ環境に関することに携わり、ごみ減量の必要性を感じています。「エコロ」では、子どもから大人まで楽しみながらごみの減量に気づくような催しを計画してもらいたいですね。例えば、家でもできるような簡単な修理方法を学ぶ講座などを開催すれば、ごみを出さない生活につながっていきますよ。



ものいかす知恵を次世代へ 小原 政枝さん(中新井在住)

毎日の生活のなかで、私たち主婦はものの使いまわしなどの工夫に気を配るようになっていますが、男性は気持ちがあってもなかなか発揮する機会が少ないのではないのでしょうか。「エコロ」では、男性ならではの特色を引き出すようなリサイクルの事業の展開を期待しています。私たちは「もったいない」精神を受け継ぐ最後の世代かもしれません。物をいかす知恵を次の世代に継承できるように、私もできることは協力していきたいと考えています。